

秋季年末
闘争

要求実現へ、ねばり強く

公務・民間共同した賃上げ闘争を強め、18春闘へ

秋季年末闘争は、民間の一時金闘争、公務員賃金闘争を公務・民間が共同・連帯して賃上げ・要求実現めざしてたたかいを強めています。11月8日の労働者総決起集会では、「無期転換」の取り組み、一時金闘争、組織拡大、公務員賃金闘争などの報告・決意表明

がありました。

秋の府市民総行動で、京都府・京都市への個人請願、代表要請、昼デモを実施。争議支援の団結まつりを400人の参加で実施。地域総行動では、街頭宣伝や集会・デモ、労組・事業所訪問などを行いました。

京都府・京都市へ

要求かかげて

秋の府市民総行動



請願書を手渡す

250人が参加し、要求実現迫る
秋の府市民総行動は、11月15日に京都市、22日に京都府への行動を実施。それぞれ早朝宣伝、昼デモ、個人請願行動、代表要請を行い、あわせて250人が参加しました。
個人請願行動では、参加者一人ひとりが請願用紙を手渡し、要求や願いを口頭で伝えて、要求実現を求め

高雄病院労働組合

100人で結成

11月13日、高雄病院(京都市右京区、職員170人の職員が、「これまでの患者・利用者本位の医療・介護、賃金労働条件を守り、働きやすい病院にしたい」と労働組合を結成しました。

賃金労働条件の改善
働きやすい病院に

高雄病院では9月に病院の理事の体制が変わりましたが、

「コンサルタントのような人から『面接を受ける』と言われた」「必要性的分らない研修会を『義務的に受ける』と言われた」「人事考課を導入する」



働きやすい病院にするぞ！

公務 民間 連帯してたたかう

「労働者決起集会」に120人

代表要請では、公契約条例の問題、介護・福祉労働者の処遇改善の問題、中小事業者への支援の課題、国保・介護・医療・生活保護など社会保障の課題など

ました。

要請・懇談を実施しました。
自治体の「やる気」があれば改善できる
要請・懇談で、介護労働者の処遇改善について、「介護保険で措置されるべきもの」との回答に終始した当局に対して、「法的規制や国からの指導などがあるのか」と追及。「法律の縛りや国の通達・指導はない」との回答を引き出しました。参加者からは「それなら、やる気があれば独自の施策ができるではないか」と声が上がりました。引き続き、総評の予算要望などで実現を求めていくことにしています。

11月8日に開催した「秋季年末闘争勝利！労働者決起集会」は、尾藤弁護士から社会保障の相次ぐ改善の内容とそれとたたかう労働組合への期待、高山京大教授から憲法9条改悪阻止のたたかひの重要性が語られました。労契法20条裁判のたたかひ(郵政ユニオン)、年末一時金闘争(化学一般)、非正規労働者の雇用と処遇の改善(京都放送労



高山京大教授

すべての勝利・解決へ
争議の

「団結交流まつり」で決意あらたに



勝利・解決を必ず！！

6回目となる「団結交流まつり」は、天候に恵まれ、400人の参加でぎやかに進みました。

いま、政府・査定官庁は、来年度概算要求の査定をすすめている。国は東京五輪に向けて入国管理や税関、検疫等に配慮する一方、国民に身近な行政への総人件費削減を推し進めている▼労働行政では来年度の定員を489名要求したが、削減計画等で既に487名の定員削減が決まっており、満額査定されても全国で2名しか増えない。満額査定など過去の例から有り得ず、3割査定でも150名余の削減が地方に押し付けられる。安倍『働き方改革』って、そんなものなのか？▼税務署のe-Tax強化や「スマート申告」による丁寧な対応の省力化、登記や求人情報のシステム化など、行政サービスのIT化やマニュアル化がすすんでいる。時勢変化への対応や業務簡素化に繋がるならいいが、利用者への公平性や融通が利かない事象なども増えることが懸念され、今後の動きに注視が必要だ▼確かにムダな経費や不透明な収支にメスを入れることは重要。しかし、国の借金が増え続けている。外遊時等の総理のバラまきは何とかならないものか？▼「国民の奉仕者」として行政サービスを後退させてはならない使命感だけが支えで、現場は疲弊を極めている。職場体制の確保・拡充を求め、声を上げて欲しい。(びく)

TUBUYAKI



憲法ウォークで改憲NO！をアピール

改憲発議を許さない世論をつくらう！

立憲野党が議席を伸ばした総選挙

先の総選挙では、市民連合の「7項目要望」を支持する立憲野党（立憲民主党、日本共産党、社民党）が、3党で改選前より議席を伸ばしました。一方、野党共闘の分断と選挙制度に助けられた結果、与党に憲法改正発議に必要な3分の2の議席を許す結果となりました。

しかし、自民党の比例代表での得票率は33%にすぎず、立憲野党3党の得票率は29.5%と拮抗していることに見られるように、与党の議席は国民の信託の上に獲得された議席ではありません。

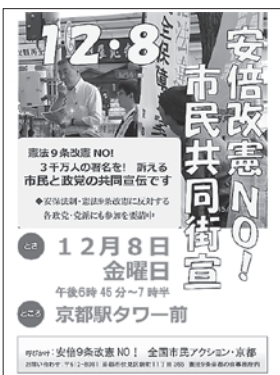
「3000万全国統一署名」に全力を

共同をひろげ、改憲発議を阻止しよう

国会の議席では、衆参両院で3分の2の議席を与党が占めていますが、「改憲発議はできない」と与党が断念するような大きな世論を急いでつくっていくことが重要になっています。

11月3日に行われた憲法集会は2400人が参加し、日本共産党、自由党、社民党、新社会党、緑の党があいさつし、立憲民主党はメッセージを寄せるなど、「改憲阻止」「憲法守ろう」と共同が広がっています。

署名運動が9月からスタートしました。京都では、「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」がよびかけた3000万筆目標の全国統一署名運動が9月からスタートしました。京都では、「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」がよびかけた3000万筆目標の全国統一署名運動が9月からスタートしました。



3000万全国統一署名を大きくひろげよう

「戦争はイヤだ」「憲法

改憲NO！全国市民アクション・京都」がつくれ、60万筆目標で署名運動が各地で広がっています。

「全国市民アクション・京都」ができ、地域では「全国市民アクション・〇〇」がつくれ、様々な取り組みがはじまっています。

京都総評では、毎月9日と29日を「安倍改憲許さんデー」として、街頭宣伝・署名行動を集中的に取り組んでいます。12月8日には、「全国市民アクション・京都」が市民と野党の共同宣伝を行います。

職場で、地域で、全国統一署名をすべての構成員に届け、運動を急速に強めていきましょう。

有期雇用労働者に知らせよう

契約更新を繰り返していて、来年4月以降に通算5年を超えると、本人の申し出によって無期雇用契約に切り替えることができるようになります。

京都放送労組や生協パート労組など、労働組合として職場の有期雇用労働者の無期転換への取り組みが始まっています。

単産・地域で、有期雇用労働者に労契法18条の内容を知らせ、労働組合への加入を働きかけ、組合として無期転換の取り組みを広げましょう。



今こそ「いのちの署名」を集めよう

きか、はっきりしていきま

す。

まず府民の暮らしを守る先頭に立つべきです。京都のどこでも医療福祉が安心して受けられるという施策をとり、社会保障制度「改革」の中止を国に申し入れるべきです。

国保が府の統一制度になるのであれば、まず高すぎる保険料を下げる。介護保険料と利用料の負担軽減を図り詐欺的な制度をあらためるべきです。そして、府独自の老人医療の助成

自治体の長は何をすべきか

この府の方針のもと、自治体の長が何をすべきか、

深刻化する格差と貧困

国は、貧困の原因にかみ合った政策を実行しなければなりません。これは緊急の課題です。まず賃金を上げる。そして高齢者、障が



府民大集会で尾藤弁護士の訴えを聞く参加者

新たな発見がいつぱい

毎回参加するのが楽しみに

「賃金や働き方のことをみんなで話し合えたのがよかった」「自分の賃金はかなり低いけど、少しずつでも運動していければ良いなと思う」「他の会社の働き方を聞いて、自分の会社が

楽しく学ぶわくわく講座。 亀岡教室 大好評



職場の実態を語り合う

亀岡地労協では、「わくわく講座 亀岡教室」を行い、20代、30代を中心に17人が受講。毎回の集まりで職場の実態やテキストを学んだ感想などを出し合い、話し合うことを大事にして取り組まれました。それぞれの職場の実態を聞き、ビックリしたり、共感したり。そして、労働者の権利や組合の大事さや学び合えた講座となりました。来年は、多くの地区労協で「わくわく講座」を取り組みましょう。

知事に求められるのは**府民のいのちを守る決断と信念**